

扉を開いて

大学図書館問題研究会全国大会2012
8月6日(月) オープンシンポジウム

菊池美紀 (聖学院大学)

大学紹介

- 所在地 埼玉県上尾市
- 構成 政治経済学部
人文学部
人間福祉学部
大学院
- 学生数 約2,700人
- 建学の精神
神を仰ぎ、人に仕う



図書館員はアピールが苦手?!

- アピールって苦手！
- 意気込むなんて、恥ずかしい……。

まずは意識から。

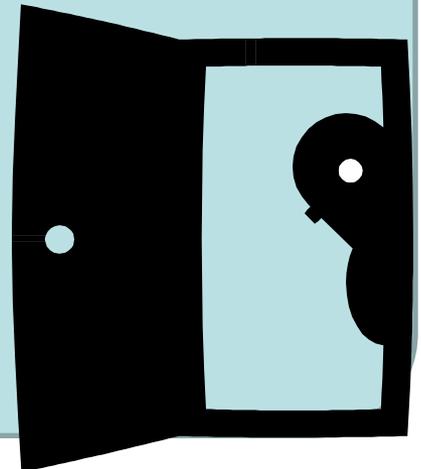
- 図書館に閉じこもらない。
- 大学行事も参加しよう。



実践例①：研究室訪問

- 新任教員への挨拶
- 学部長、学科長を訪問（通称・御用聞き）

- ✓ 顔と名前を覚えてもらう。
- ✓ 図書館活動を正しく伝え、
協力を仰ぐ。
- ✓ 図書館サービスを紹介し、
利用を促す。



実践例②：図書委員会

- 図書委員会を理解者に！
- 運営委員会、教授会、学科会など
公式会議をおさえよう。



実践例③：図書館長

- 前館長との顔合わせ（引き継ぎ）
- 館長資料（ファイル）
- 毎週の業務報告



目指せ！

図書館長の地位向上！

実践例④：図書館から外へ

- “紀要の電子化”というきっかけ
- “リポジトリ”という「魔法の鍵」?!



他部署と協力関係をつくる

実践例⑤:リポジトリ活動

- 研究者インタビュー
リポジトリ活動を
意識してもらう機会に。



ブラウザのアドレスバー: <http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/mod/>

検索: SERVE 聖学院

SERVE 聖学院

1<運用指針承認>
運用指針が承認されました。このことについて一言お願ひします。

2<SERVEへの期待>
私はSERVEが最初からスタートした際の経緯は、ネットの発展で、ウェブインバーの機会が多いという点から、この大学の人が、また、私たちが、この大学の運営に、本格的に参画し、果たすべき役割を担って、まことに、この大学の発展に、貢献するものと、思っています。

実践例⑥：日常業務の中で

- カウンターでの会話
（著作権許諾活動）

- 展示
研究紹介や
学科講演会との連携



図書館員全員が、広報や見え方を意識する。

まとめ

効果がすぐに出るとは
限らない。

まずは、意識すること。

そして、続けること。

